

【小項目評価基準】
 評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。
 評価4・・・年度計画を上回って実施している。
 評価3・・・年度計画を順調に実施している。
 評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。
 評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

参考資料4

地方独立行政法人福岡市立病院機構 令和元年度の業務実績に関する評価結果(案)まとめ

大項目	小項目	目標値有無	ウエイト	自己評価	第1回評価委員会意見	市評価案	評価の判断理由・評価のコメントなど	資料頁		
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置										
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども	○	2	3		○目標は上回っているが、昨年度より実績が大幅に下がっているものもあるということも踏まえた上で、評価をどうするのか考えていく必要がある。基本的には、自己評価に賛成。	3		
		市民	○	2	3		○昨年度4の評価を今年度3にするという評価がいいのかどうか。極端に何かが悪くなって、評価を下げなければいけない特段の事情がなければ、これまでの評価の延長線上で考えていいのではない。	3		
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども	○	2	4		○「福岡県小児等在宅医療推進事業」の拠点病院、「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」への参加、「福岡県母体搬送コーディネーター事業」の中核病院など、積極的に患者を受け入れて、地域の医療提供ネットワーク構築に貢献している。 ○一部の指標で目標値を下回ったものの、紹介率・逆紹介率、医療的ケア児のレスパイト入院の受入実績などは目標値、昨年度実績を上回っており、腎疾患科及び内分泌・代謝科で新たに移行期クリニカルパスを構築するなど、地域医療や医療連携に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実践していると判断されるため、「評価4」とする。	4	26～27	
		市民	○	2	4		○コロナウイルスの影響があったと考察しているが、コロナウイルス感染症の影響が出ていなかった4月から12月に絞って、前年度と比べてどうだったのか検討必要。 ○PFMを新たに設置し、前方調整をかなりしている。前方調整に加え、後方支援・調整にもさらに力を入れられたい。	4	30～31	
(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応		×	2	4		○福岡市全体の患者数や市民病院が引き受けた患者数など数値的に評価することによって、市民病院の貢献が見えてくる。 ○コロナウイルス感染症について、数字で表現した方が市民にわかりやすい。	4	34～35		
2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども	○	2	3			3		
		市民	○	2	3			3		
	(2) 情報発信		×	1	3			3		
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども	×	2	4			4	46～47	
		市民	×	2	4		○看護師の離職率が4.2%ととても低くなっており、職員のことをしっかり考えた活動をしていると考える。	4	48～49	
	(2) 信頼される医療の実践	こども	○	2	4			○院内感染防止対策の徹底、医療安全対策の強化による医療の質の向上など、患者を中心とした、安心・安全な医療の提供に取り組んでいる。 ○新たにNICUへの病棟薬剤師配置、全職員に対するTeamSTEPS推進の研修会の開催、クリニカルパスの対象科数増加など医療安全対策に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。	4	50～51
		市民	○	2	4			○院内感染防止対策や医療安全対策地域連携ネットワークによる地域における医療安全対策の質の向上、安心・安全な医療の提供に取り組んでいる。 ○すべての指標で目標値・昨年度実績を上回っており、病院機能評価3rdG:ver2.0の認定、200床以上の医療機関との比較によるクリニカルパスの高い使用率など、医療安全対策に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。	4	54～55
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置										
1	自律性・機動性の高い運営管理体制の充実		×	1	3		○こども病院における戦略的分析チームの計11回の開催や、市民病院におけるワークライフバランス推進委員会の活動は評価の対象になる。 ○具体的な評価指標がないので判断が難しいが、評価3はよい。	3		
2	事務部門の機能強化		×	1	3			3		
3	働きがいのある職場環境づくり		×	1	3		○管理職に対する人事評価は、多面的な評価を取り入れ、客観的に評価されるようなシステムにされたい。	3		
4	法令遵守と公平性・透明性の確保		×	1	3			3		
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置										
1 経営基盤の強化	(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減	こども	○	2	4			○積極的な増収対策や費用削減が着実に進められており、経営基盤の強化が図られている。 ○全ての指標で目標値を上回っており、特に、経常収支比率は、全国の小児専門病院の中で高い水準にあることなどを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。	4	66～67
		市民	○	2	2		○福岡市で、コロナ感染が出てきたのは3月の中旬で、1月2月まで含めた医療収支がどうだったか検討必要。下がってれば何が原因なのかを検討する必要がある。 ○人件費率が6割を超えていることは気になる。将来に渡ってコストパフォーマンスとして効果的になればいい。	3	68～69	
	(2) 投資財源の確保		×	1	3			3		
2 収支改善	(1) 収益確保	こども	○	2	4			○効率的な病棟運用の施策、院内ワーキングチームの活用による診療報酬請求の一次査定率の抑制など、年度計画どおり収益の確保が図られた。 ○一部の指標で目標値を下回っているものの、新規入院患者及び1人1日当たり入院単価等は目標値を上回っており、医業収益も予算を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。	4	72～73
		市民	○	2	2		○地域との関わりで減収だったということについて、細かな評価、分析が今後必要。 ○評価については、提案された評価点数がいいが、今回の資料を見て危機感を持ったので、具体的な分析、どういったことができるのか分析が必要。	3	76～77	
	(2) 費用削減		○	2	3			3		
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置										
1	福岡市立こども病院における医療機能の充実	こども	×	2	4		○福岡市にかかわらず、広い範囲の子供たちを診ているというアピールをもっとしてもいい。 ○子供本人や家族への支援といった患者会についても、実績としてあげたらいい。	4	84～85	
2	福岡市民病院における経営改善の推進	市民	×	2	3		○コロナ患者をこれだけ見たということ、数だけではなく、まだノウハウがないときから、多くの患者さんを見始めたということも、実績としてアピールしていくといい。	3		